

ジオパーク目指し調査

山口県上関の島々

専門家、「羽衣岩」など確認



八島の「羽衣岩」を視察する専門家

貴重な地形や地質を持つ自然公園「世界ジオパーク」に西瀬戸内海の島々の認定を目指すための現地視察が5月30、31の両日、山口県上関町であった。地質学の専門家3人がチャーター船に乗り、海岸線に現れた地形を確認するなどした。

30日は離島の八島や祝島などを回った。八島では、約1千万年前の火山の跡で、マグマが冷える際に入る規則的な亀裂が

放射状に発達した安山岩の状況を確認。地元環境保護団体が「羽衣岩」と名付けた雄大な景色で、専門家も「海岸線なので全体をよく見ることがができる」と評価していた。祝島では、マグマ活動で現れた約1億年前の花こう岩と約1千万年前の安山岩を同時に確認できる場所を視察した。

31日は、地震で隆起したと考えられる鼻繰島はなぐりしまの大穴などを視察した。藤岡達也滋賀大名誉教授は「地球で起きたさまざまな自然活動の跡を見ることがができる。地球のダイナミズムを感じられる地域だ」と評価していた。

(加田智之)

